

令和7年度【後期】

消費者の感性に訴える

「商品撮影ワークショップ」

モノの品質や特性だけでは売れにくいといわれる現在、消費者の感性に訴えかける情報発信が効果的になりつつあります。そこで、県内中小企業の販売促進を担当する人材の育成を支援するため、消費者の感性に訴求できる写真撮影技術を学ぶ研修を開催します。



■研修概要

テーマ：「感性豊かに撮影する技術を学ぶ」

目的：カメラの基本的知識を学び、オリジナル企画商品等の撮影が一通り自社でできるようになる。

内容：・カメラの使い方や撮影に関する基礎知識の習得
・商品に求められる写真の撮影技術の習得
・撮影画像の補正技術、修正技術の習得
・自社の撮影環境および画像加工環境の改善アドバイス（※企業訪問型研修）

担当：商工意匠支援員 濱田 聡一郎、主任技師 石丸 祥司

期間：令和7年10月～令和8年2月の5ヶ月間

回数：1ヶ月に2回程度の5ヶ月（全10回）ほか、受講企業の現状に合わせて開催

時間：1社1回あたり2時間30分程度（2回/月）

あるいは、1ヶ月に1回程度（午前と午後に各2時間30分）の5ヵ月も可

場所：愛媛県繊維産業技術センター3階 デザイン工房2

対象：県内の中小企業（伝統工芸を含む）の企画担当者等

募集：令和7年9月12日（金）締め切り

費用：無 料 ※カメラや撮影対象物（商品など）、小物類は参加企業で準備持参